

「事業名:災害・被ばく医療科学分野の人材育成による知の交流拠点構築事業」 2020年度事業の概要

長崎大学（共同申請校:福島県立医科大学、福島大学、東日本国際大学）

連携市町村:川内村、富岡町、大熊町

現地拠点:双葉郡川内村上川内内字小山平15-1/富岡町大字本岡字王塚622-1

事業のポイント

長崎大学が復興推進拠点を設置している川内村、富岡町や大熊町において、福島県立医科大学や福島大学、東日本国際大学といった福島県下の大学、さらに国際放射線防護委員会や国際原子力機関といった国際機関と連携して世界中の災害・被ばく医療科学の専門家を育成する「復興知を学ぶ」知の交流拠点を浜通りに構築します。

2020年度の取り組み内容

1. 川内村、富岡町に加えて、住民の帰還が始まった大熊町への復興支援を行います。
2. 福島県立医科大学、福島大学、東日本国際大学と連携して福島県下の若者世代を対象とした放射線についての集中セミナーを川内村で開催します。
3. 世界各国の災害・被ばく医療科学の若手研究者を対象とした国際セミナーを川内村や富岡町で開催します。



取り組みによって得られる成果

浜通りを「災害・被ばく医療科学」のグローバル人材を育成し、「復興知を学ぶ」知の交流拠点にします。

